

烏帽子の会の活動報告

参加者 13 名

令和 8 年 7 月 8 日(水)

《コースタイム》

市役所 8 : 00 小谷郷土館 8 : 45 駒の足跡 9 : 05 解散 12 : 45(小谷郷土)

《小谷村 立山にて 90 歳を祝う》

駒の足跡、武田軍に追われた武士が平倉山から中谷川を飛び越えて着地した時の足跡が大岩の上にぽっかりと残っている。景色も良いゆっくり眺めていると、いつもは車など滅多にこない所なのに今日に限って 2 台も来てしまい、慌てて車に乗り込み、予め決めておいた駐車スペースが見つからず舗装の途切れた広い所までできてしまった。



その舗装されていない道を歩くこと 1 時間、ゆっくりと周りの木々や景色を楽しみながらホオの木とトチの木の見分け方を聞く、トチの木の葉は付け根の所に小さい葉が 2 枚ついているとのことです。その他にもアブラチャンの実、キブシの実なども見ながら歩く。少し見晴らしの良いところ出ると向かい側の山の中腹に家が見える、あれは清水山で見える家はパラリンピック競技出場選手の小林深雪(現在、井口深雪)さんの実家とのこと。



SA さんの先祖も昔同じ所に住んでいたが、明治の頃に現在のところに移住されたそうだ。そして山頂到着、晴れて気持ちいいが暑い。次期表彰されるだろうと自負する SE さんが 90 歳のお祝いの賞状を読み上げ、みんなで一緒にお祝いする。

烏帽子の会で今までにない快挙とのことです。みんなの目標と励みとなりました。これからも 95 歳、100 歳まで元気で一緒に登りましょうと皆さんから声があがりました。暑い中、昼食をすませて、SA さんの案内で、石原の白山社の大杉を見に行く。中は空洞化しており火事にあい焼けただれているが、周りは生きていて緑の葉が生い茂っている不思議な大杉でした。樹齢も不明。小谷郷土館にて SA さんとお別れ会をして帰路に着きました。私達に希望を持たせてくれた充実した一日でした。

